

クルーズサマリー

1. 航海情報

(1) 航海番号： KS-24-18

(2) 使用船舶： 新青丸

(3) 航海名称

共同利用研究航海のための観測機器の性能確認試験

(4) 主席研究員

黒田 潤一郎（東京大学 大気海洋研究所）

(5) 研究代表者

KS-24-18_1 黒田 潤一郎（東京大学 大気海洋研究所）

(6) 研究課題名

KS-24-18_1 共同利用研究航海のための観測機器の性能確認試験

(7) 航海期間

2024/09/13 -

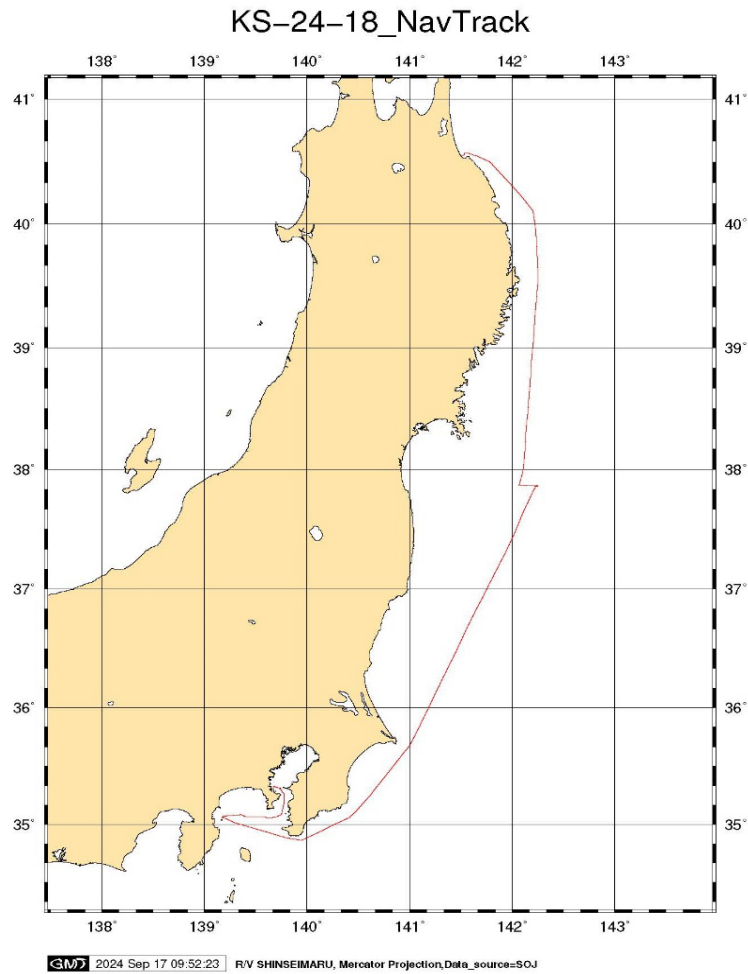
(8) 出港～帰港

八戸港 -

(9) 調査海域

福島沖および相模湾

(10) 航跡図



2. 調査概要

本航海は、共同利用研究航海で使用する観測機器類の運用性能試験である。今回は、1) マルチプルコアラーおよびアシュラ採泥器を用いた表層採泥試験、2) 航走観測による海底地形・底質サーベイ試験、3) VMPS の作動試験、および4) フローメーターの校正を行った。まず、福島沖の Station MC01 では、航走観測で得られた海底地形と海底浅部断面の情報をもとに、採泥試験を実施し、マルチプルコアラーとアシュラ採泥器で砂質堆積物を採取した。大気海洋研究所で開発中の長尺採泥管での試験採泥も実施し、良好な採泥結果を得た。また、相模湾のサイトでは、VMPS の作動確認とフローメーターの校正を実施した。大気海洋研究所では、これらの性能試験を経て、各種観測機器類が高いパフォーマンスを維持しつつ多くの共同利用航海で活用される体制を今後も維持したいと考えている。